

薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記
薬剤部 小泉 祐一

平成 29 年 5 月 19 日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

① 新規採用医薬品

オテズラ錠 10mg/20mg/30mg (皮膚科) 【院外限定】

薬効： PDE4 阻害剤

申請理由： 乾癬の経口治療薬。従来とは異なる作用機序をもち、忍容性が高く投与前の検査を必要としない。生物学的製剤を使用する前の患者に対して使用する予定。

採用中止薬剤： なし

アルツディスポ関節注 25mg (整形外科)

薬効： 関節機能改善剤

申請理由： 軟骨変性抑制、疼痛抑制、関節可動域の改善、腱癒着に対する防止作用および潤滑能改善、滑膜炎抑制、病的関節液の性状改善等の薬理作用を示し、また安全性において特に問題は認められない。

採用中止薬剤： スベニールディスポ関節注 25mg

ベムリディ錠 25mg (消化器内科) 【院外限定】

薬効： 抗ウイルス化学療法剤

申請理由： 既承認のテノホビルのプロドラッグであるテノホビル ジソプロキシル fumarate (TDF) と同様の効果を、TDF の 10 分の 1 以下の用量で示すことが確認され、TDF の特徴的な有害事象として知られる腎機能障害や骨密度の低下の軽減もある。

採用中止薬剤： テノゼット (ベムリディ長期投与可能日から採用中止)

リフキシマ錠 200mg (消化器内科)

薬効： 難吸収性リファマイシン系抗菌薬

申請理由： 好気性グラム陽性菌、通性嫌気性グラム陰性菌などに対して抗菌活性を示す、難吸収性リファマイシン系抗菌薬。本邦で初めて「肝性脳症における高アンモニア血症の改善」を効能・効果とする薬剤。腸管内のアンモニア産生菌に作用することで、アンモニア産生を抑制し、血中アンモニア濃度を低下させる。カナマイシンと比較し難聴、腎障害など副作用が少ないのが特徴。

採用中止薬剤： ペグイントロン

② 区分変更医薬品

【院外・患者限定】 → 【院外限定】

レルベア 100 エリプタ 30 吸入用

ダラシンTゲル 1%

【科限定】 → 【本採用】

オゼックス錠 150

大塚糖液 10% (20 mL 管)

③ 販売中止

パーセリン 錠 25mg

④ 出荷停止

ラニラピット錠 0.1mg

⑤ 使用成績調査

<ネスプ注射液プラシリンジ>

「骨髄異形成症候群に伴う貧血における調査」

1、調査区分：特定使用成績調査

2、医薬品名：ネスプ注射液プラシリンジ

3、調査目的：骨髄異形成症候群に伴う貧血におけるネスプ注射液プラシリンジの長期使用実態
下での安全性及び有効性の検討

4、調査期間

登録期間：契約締結後～2018年2月末

調査機関：契約締結後～2024年2月末

5、調査対象となる患者：MDSに伴う貧血の治療を目的に、本適応の承認日（2014年12月18日）以降2018年2月までに本剤の投与を新たに開始した全ての患者

6、調査責任医師：麥谷安津子

調査分担医師：青山泰孝、井根省二、市原弘善、康史朗、喜澤佑介

7、その他項目

1 症例あたりの観察期間：5年間

調査票：紙調査票5冊（1，2，3，4，5年時）

重点調査期間：生命予後、AMLへの移行に及びす影響

※上記重点調査項目を調査するため、5年以内に本剤投与を中止した症例であっても、5年間観察となります。（死亡または転院等による追跡不能は除く）